

森はな没後35周年追悼企画

児童文学作家 森はなの世界展

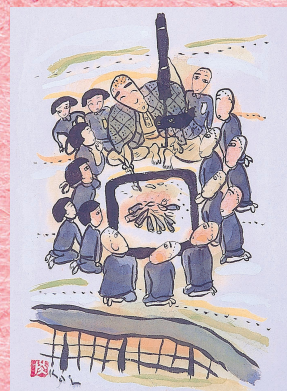
2023年6月24日(土)～7月9日(日)



森はな(昭和57年ごろ)朝来・法泉寺で



「じろはったん」より 梶山俊夫/絵



「じろはったん」より 梶山俊夫/絵



「キツネとしゅんべいじいさん」より 梶山俊夫/絵

〜やま〜おしえてくれたひと〜

児童文学を楽しもう
「森はな作品の読み聞かせ会」
日時…7月9日(日) 10:30～11:00

思い思いに描いて
「森はな作品の缶バッジを作ろう」
日時…7月9日(日) 11:00～12:00

あさご芸術の森美術館

☎679-3423 兵庫県朝来市多々良木739番地3
TEL 079-670-4111/FAX 079-670-4113

- 開館時間/午前10時～午後5時(入館は閉館30分前まで)
- 休館日/会期中の毎水曜日
- 観覧料/無料 ※常設展、企画展は別途入館料が必要です。
- ◆主催/朝来市・朝来市教育委員会
- ◆後援/朝日新聞豊岡支局、神戸新聞社、産経新聞社、新日本海新聞社、毎日新聞豊岡支局、読売新聞豊岡支局、両丹日日新聞社、サンテレビジョン、ラジオ関西
- ◆協力/姫路文学館・森はな顕彰会・あさご芸術の森美術館友の会・大蔵地域自治協議会



森はな没後35周年追悼企画

児童文学作家 森はなの世界展

～やさしさ おしえてくれたひと～

朝来市和田山町宮田出身の児童文学作家・森はなは、長く務めた教員生活を終えたのち、童話を本格的に執筆しました。最初の作品「じろはったん」では、日本児童文学者協会の新人賞を最高齢で受賞し、「遅咲きの新人」として注目を集めました。人や自然、ふるさとをいとおしむ心であふれた作品は、多くの人々に読み親しまれています。

本展では、絵本の挿絵を描いた梶山俊夫の原画に加え、執筆原稿や森はな愛用の品々を展示します。森はな作品から溢れる「いとおしむ心」と「やさしさ」にふれてみてください。

【森はな 略歴】

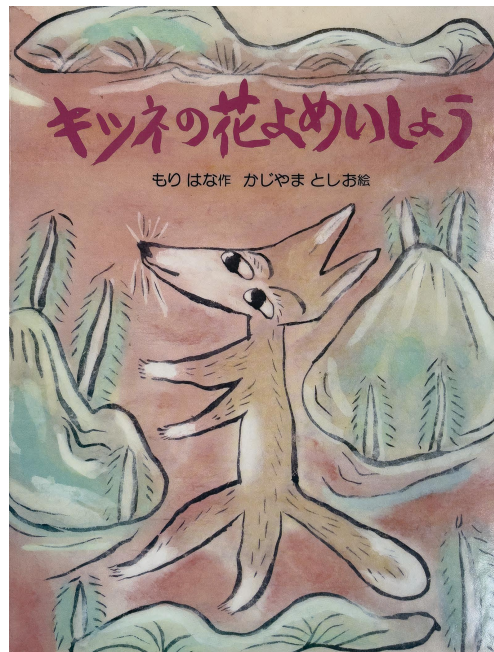
1909(明治42)年	養父郡大蔵村宮田(現・朝来市和田山町宮田)に生まれる
1928(昭和3)年	19歳、明石女子師範学校を卒業 養父郡南谷小学校へ赴任する
1932(昭和7)年	23歳、母校、養父郡大蔵小学校へ転任する 夫、森種樹と結婚
1936(昭和11)年	27歳、加古川市に転居
1973(昭和48)年	64歳、「じろはったん」刊行
1974(昭和49)年	65歳、「じろはったん」第7回日本児童文学者協会新人賞を受賞
1989(平成元年)年	6月に80歳で逝去



「キツネとしゅんぺいじいさん」より 梶山俊夫/絵



「じろはったん」より 梶山俊夫/絵



「キツネの花よめいしょう」より 梶山俊夫/絵

「じろはったん」は、朝来市立大蔵小学校の児童により歌物語「じろはったん」として披露され、長年歌い継がれています。また、ミュージカルや紙芝居となり、大勢の人々の心に感動を届けています。

児童文学を楽しもう

「森はな作品の読み聞かせ会」

日時…7月9日(日) 10:30～11:00

森はな作品の読み聞かせを展示会場内で行います。

思い思いに描いて

「森はな作品の缶バッジを作ろう」

日時…7月9日(日) 11:00～12:00

森はな作品の挿絵を描いて缶バッジを作りましょう。

あさご芸術の森美術館

☎679-3423 兵庫県朝来市多々良木739番地3
TEL 079-670-4111/FAX 079-670-4113

〈交通のご案内〉

- JR播但線 新井駅下車 タクシーで8分
- 自動車 京阪神から120分 姫路から60分
中国自動車道(福岡I.C.)→播但連絡道(朝来I.C.)
→R312→あさご芸術の森美術館
舞鶴若狭自動車道(春日I.C.)→北近畿豊岡道(和田山I.C.)
→R312→あさご芸術の森美術館



観覧料割引券

〈本企画展期間中のみ有効〉

2023年6月24日(土)～7月9日(日)

50円割引券

本券1枚につき1人1回限り有効です。他の優待券・割引券との併用はできません。

あさご芸術の森美術館